

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ユニット毎の理念に関して、作成してからかなりの期間が経過し、時代や施設の状況に合わない文言がある。また、在職中の職員も自分達で構築した物では無い為、既存の理念に対する意識が薄い。	時代や施設の状況に合わせて、ユニットの想いが詰まった理念を再構築する。	・職員ミーティングを利用し、ユニット毎に現在の職員の理想や想いを抽出し、施設の理念を基に新たなユニットの理念を作成する。	6ヶ月
2	36	ご入居者の尊厳を守り、入居者本位の支援が十分には行われていない。	ご入居者の尊厳を守り、それぞれの意思や生活スタイル・ペースに合わせた支援を行う。	・ご入居者への声掛けや対話は丁寧な言葉遣いで行う。 ・食事・入浴・起床・就寝等は個々の生活歴を再確認し、本人様の意思やペースを尊重した対応を行う。	12ヶ月
3	60	外出する機会が少ない。	恒例行事や個別行事以外でも個々の生活に応じた外出を行う機会を作る。	・施設や個人の買い物、おやつ購入、馴染みの人と会う等、本人様の生活に応じた外出対応を行う。	12ヶ月
4	64	地域との交流や関わる機会が少なく、繋がりが希薄である。	入居者・職員共に地域行事や催し等へ積極的に参加し、地域への発信も行っていく。	・行事等、施設での催しを行う際は、自治会の掲示板を利用する等して、地域へ発信する。 ・運営推進会議を利用し、自治会や包括支援センターから積極的に地域の催し等の情報を頂き、参加する事で地域との交流を深める。	12ヶ月